

もりぐちぶらり歩きマップ

このガイドマップは、市民の皆さんが守口の歴史や文化に親しみ、愛着をもっていただきたいと考え、作成しました。守口市は昭和 21 年に守口町と三郷町が合併し、その後、昭和 32 年に旧庭窪町と合併し、現在の形となりました。

市内に点在する史跡や文化財、施設は、古代から現在まで守口市がどのような歴史をたどっていったのかを学ぶことができます。このマップには、市民の皆さんが気軽に歩いて、見ていただけるよういくつかのコースを設けました。これらを参考に守口市の歴史や文化財を身近に感じてみてはいかがでしょうか。

〈パートⅣ 西三荘ゆとり道・寺方周辺の史跡散策コース〉

A コース(西三荘ゆとり道散歩コース)(約 4.9km)

京阪電鉄「西三荘駅」⇒ 7分 ⇒西三荘ゆとり道⇒ 30分 ⇒鶴見緑地⇒ 30分(散策) ⇒大阪市営地下鉄「鶴見緑地駅」または大阪市営バス「鶴見緑地」停

B コース(守口市中央部～南部の史跡を巡るコース)(約 4.6 km)

京阪電鉄「西三荘駅」⇒ 7分 ⇒天乃神社(パートⅡ参照)⇒ 10分 ⇒唯称寺(パートⅡ参照)⇒ 10分 ⇒光明寺(存覚上人旧跡)(パートⅡ参照)⇒ 7分 ⇒パナソニック株式会社 エナジー社社屋の大壁画⇒ 5分 ⇒産須那神社⇒ 8分 ⇒喜左衛門記念碑・伝和泉式部供養塔⇒ 10分 ⇒常称寺(パートⅡ参照)⇒ 3分 ⇒高瀬川跡(パートⅡ参照)⇒ 1分 ⇒高瀬神社(パートⅡ参照)⇒ 5分 ⇒京阪電鉄「土居駅」

C コース(一日コース)(約 6.5 km)

京阪電鉄「西三荘駅」⇒ 7分 ⇒西三荘ゆとり道⇒ 15分 ⇒山岡金属工業・夢工房「技術文化館」「技術開発館」⇒ 4分 ⇒西三荘ゆとり道⇒ 10分 ⇒産須那神社⇒ 8分 ⇒喜左衛門記念碑・伝和泉式部供養塔⇒ 13分 ⇒西三荘駅ゆとり道⇒ 4分 ⇒鶴見緑地⇒ 13分 ⇒咲くやこの花館⇒ 12分 ⇒大阪市営地下鉄「鶴見緑地駅」または大阪市営バス「鶴見緑地」停

(※時間・距離はおおよその目安です。なお、見学の時間は含んでおりません。)

《コース内の展示施設のご案内》

① 咲くやこの花館(鶴見緑地)

平成 2 年に「国際花と緑の博覧会」が開催された際に、大阪市が出展するパビリオンとして建設された総合植物館です。日本でも有数の植物園で、年間を通じて植物を見ることができます。館内には、地球上の様々な気候帯(熱帯、乾燥地帯、高山、極地圏)に生息する植物を、温室・冷室に分けて栽培展示しています。

開館時間は 10 時～17 時(最終入館 16 時 30 分)まで、休館日は月曜日(当日が休日の場合はその翌日)です。入館料は、一般 500 円、中学生以下、障害者手帳をお持ちの方、及び大阪市に居住する 65 歳以上の方(要証明書提示)は無料です。団体は 30 名以上から割引があります。

詳しくは、咲くやこの花館(06-6912-0055)までお問い合わせください。

② 山岡金属工業・夢工房

創業 45 周年にあたる平成 12 年に NPO 法人「企業ミュージアムの協会」認定第 1 号として「技術文化館」、平成 13 年にユーザーの提案による商品づくりの場としての「技術開発館」を開設しました。子供から大人までが、楽しく見て触れながら学べる「ものづくりミュージアム」として展示が行われています。

開館時間は 9 時～12 時・13 時～16 時(入館は 15 時まで)。見学希望の場合、事前に連絡が必要です。入館料は無料。休館日は土・日・祝・会社休日です。

詳しくは、山岡金属工業・夢工房(06-6996-2351)までお問い合わせください。



(※写真は『技術・文化館』)

③ 喜左衛門記念碑

旧寺方荘をはじめとする12ヵ村一帯は、排水の便が悪く村民は常に悪水に悩まされていました。村民は、たびたびこの地に樋を設けることを幕府に願い



出ましたが、認められなかったため、南寺方村の庄屋喜左衛門は寛永11年（1634）について意を決し、適地に樋を築き水害を一掃しました。樋はそのまま置かれましたが、喜左衛門は幕府を無視したとして翌年3月15日に処刑されました。明治15年（1882）、12ヵ村の人たちは喜左衛門を慕ってここに碑を建てました。

④ 伝和泉式部供養塔

喜左衛門記念碑の右にある石造宝篋印塔は、和泉式部（生没年不詳。平安中期の女流歌人）の供養塔と伝えられています。台座に康永3年（1344）願主妙弥道延の銘が彫られた南北朝時代のものです。



⑤ 寺方提灯踊り

発祥年代は定かではありませんが、本市を代表する郷土芸能です。昔は、この踊りは一子相伝で、門外不出といわれ、ひそかに引き継がれてきました。しかし、文



化・文政の頃（1804～1830）から盛んとなり、河内音頭寺方節にあわせ太鼓を使ったはやしと、片手に提灯をもった独特な踊りは他に類のない珍しいものです。平成12年に市の無形民俗文化財に指定しました。この提灯踊りを後世に伝えるため、地元の保存会により、毎年7月に京阪守口市駅前において踊り継がれています。

⑥ 産須那神社



創建は明らかではありませんが、元和元年（1615）の大坂夏の陣の時に全村が焼失し、当社も兵火にかかりましたが、神霊を土の中に埋めて避難させたと

伝えられています。寛永元年（1624）に社殿を再建し、

その後の寛延2年（1749）に五条家より菅原道真の木像を授かり祭神としたといわれます。

⑦ 西三荘ゆとり道



「西三荘ゆとり道」とは、市の中央部を南北に流れる西三荘水路を暗渠にして作られた遊歩道のことです。鶴見緑地から天乃橋までの約1.9kmにわた

る遊歩道には、四季折々の花木・草木が植えられています。

この「西三荘ゆとり道」は5つのゾーンに分けられ、それぞれのテーマが設けられています。全体を南から、①「緑と空間のゾーン」、②「文化・教養のゾーン」、③「フィットネスゾーン」、④「水のゾーン」⑤「花のゾーン」となっています。

⑧ 花博記念公園鶴見緑地

鶴見緑地は、守口市南部（守口市域59ヘクタール）と大阪市鶴見区（大阪市域103ヘクタール）にわたる都市公園で、かつては蓮などが自生する湿地帯で、昭和45年から本格的な埋め立て造成が始まり、昭和56年に花と緑の博覧会計画を契機に緑地整備が行われました。

平成2年4月1日から9月30日までの183日間、「国際花と緑の博覧会」が開催され、「自然と人間の共生」をテーマとして、日本で開催された四番目の国際博覧会です。

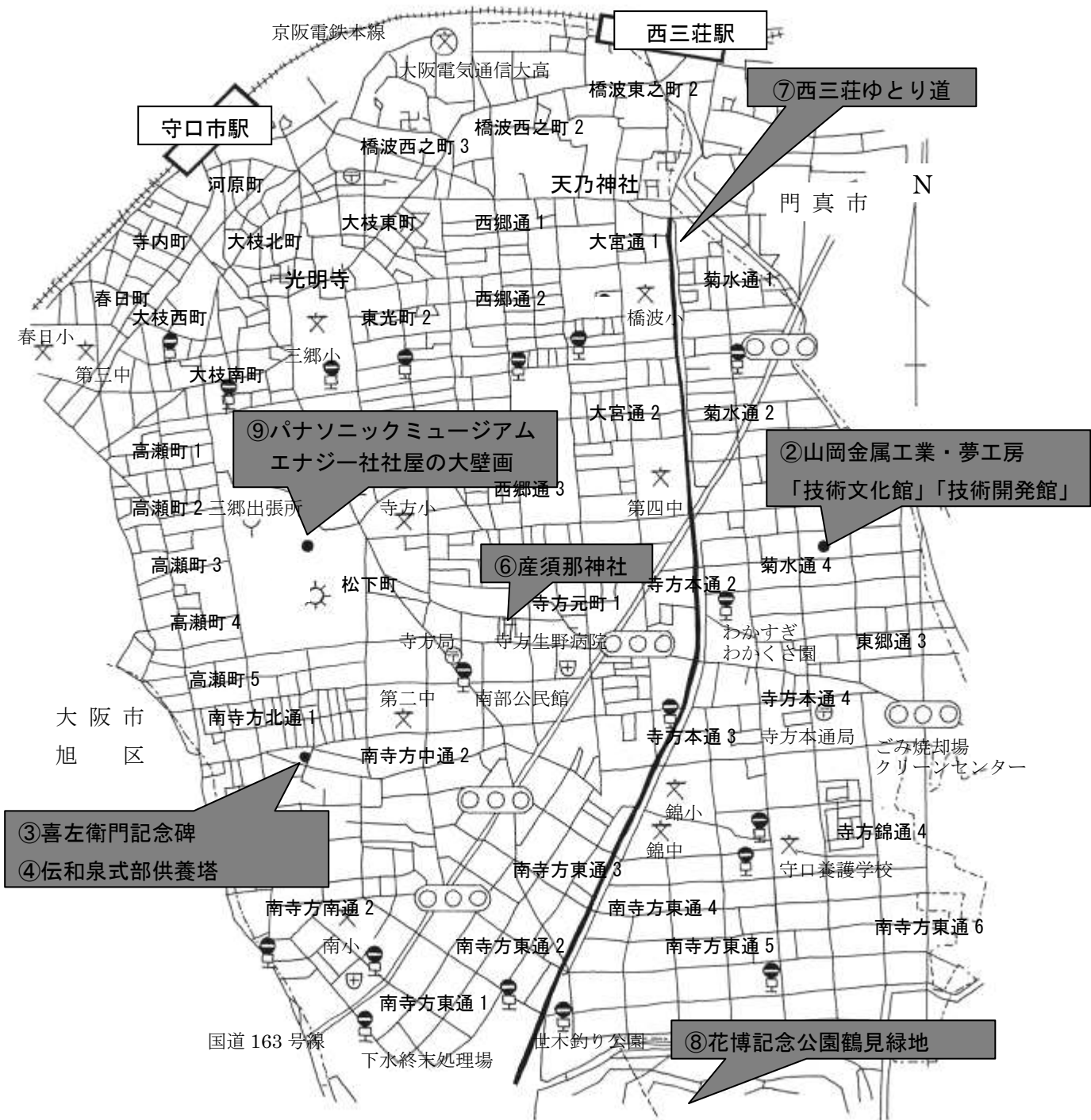
現在は、花博記念緑地公園として整備され、豊かな自然とのふれあいが楽しめる「パークゾーン」、華やかな庭園や花壇のある「ガーデンゾーン」、花博記念施設のある「プラザゾーン」、球技場などの施設や花や緑に関する学習施設のある「スポーツ・コミュニケーションゾーン」に分けられます。

⑨ パナソニック株式会社 エナジー社社屋の大壁画

松下町にあるパナソニック株式会社 エナジー社の社屋には、壁をキャンパスに見立てた大壁画があります。

これは向かい側にある寺方小学校の児童が描いた恐竜の原画を合成したもので、題名は「わたしたちの恐竜ランド」と名づけられています。





守口市駅

西三荘駅

⑦西三荘ゆとり道

⑨パナソニックミュージアム
エナジー社社屋の大壁画

⑩山岡金属工業・夢工房
「技術文化館」「技術開発館」

⑥産須那神社

③喜左衛門記念碑
④伝和泉式部供養塔

⑧花博記念公園鶴見緑地